

特集 安心・信頼の医療提供の要「感染対策室」



ホームページリニューアル!

地域医療の最前線	…	2
特集 topics	…	5
ちょっといい話	…	8
Bein' Green 一連載コラム	…	9
よりみち	…	10
News&Communications	…	11

編集後記



子供の頃、運動会の楽しみといえば、母の作るお弁当だった。当時は校庭に莫産(ござ)を敷き、大きなタッパーに入ったおかずとおにぎりを莫産いっばいに広げた。しかし、今時の運動会は午前中でプログラムが終わり、そのような光景も無くなってしまったようだ。あのときのお弁当の「味」を今でもよく覚えている。味というのは自分の体験と強く結びつき、その思い出が記憶に蘇る。深い懐かしさとともに思い出すあの味は、人生の豊かさそのものだったような気がする。



〒252-5188
神奈川県相模原市緑区橋本台 4-3-1
TEL: 042-761-6020 (代)
FAX: 042-713-3525
HP: www.sagamiharahp.com

H P



YouTube



Twitter



LINE



診断・治療・予防、多岐にわたる診療領域

「消化器内科」

副院長 兼 消化器内科部長
荒木 正雄 医師

◆ 資格
日本内科学会認定医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本消化器病学会専門医
日本消化管学会専門医・指導医
厚生労働省臨床研修指導者



全てに関わる消化器内科

消化器内科では地域の中核病院及びがん診療拠点病院として消化器疾患の急性期から慢性期まで幅広い診療を行っています。取り扱う臓器としては食道から大腸までの消化管や肝臓・胆道・膵臓などの広範囲に及びます。

原因を明確にし、適切な治療を提供

当科では外来・入院での診療を行っています。外来は1日平均約115人と非常に多くの患者さんを診療しています。主に内視鏡を用いた検査や治療となります。検査では上部・下部消化管内視鏡検査、超音波内視鏡検査、ERCPなどがあります。治療としては食道、胃、大腸癌に対する内視鏡切除、消化管出血に対する内視鏡的止血術、良・悪性を問わない胆道・膵臓疾患に対する内視鏡治療などがあります。

間・休日の診療を行っています。また、24時間365日消化管出血に対する緊急内視鏡検査が可能な体制を取っています。

「消化器内科」の特色 「内視鏡検査」

内視鏡検査及び治療は当科の特色の一つです。当院では2021年の病院移転・新築に伴い最新の内視鏡機器を導入し、昨年度は約7600件の内視鏡検査・治療を施行しました。

内視鏡検査は内視鏡の先端に搭載されたカメラを介して普段観察できない食道、胃、大腸などをモニターに映し出して直接見ることが出来ます。内視鏡と一口に言っても、上部、下部、胆膵、超音波内視鏡などあり、特徴や用途も様々です。また、組織の一部を採取し顕微鏡検査でがんなどの確定診断を行います。

今やがんは国民病とも言われる



が必要な場合は透析科、消化管出血で内視鏡的止血が困難な場合は放射線科などに依頼し、他科と緊密な連携を取りながら種々の疾患の治療に対応できる体制を取っています。

がんについては診断、治療方針の決定などを行い、内視鏡的治療や化学療法などは当科で行いますが、手術や放射線治療の場合は、外科や放射線科に依頼します。がんの症状緩和が必要な場合は緩和ケア科に依頼するなどの院内の診療連携で、がん患者さんに対して総合的な医療が提供できるように努めています。

また、消化器病センターとして内科・外科で消化器疾患全般の診療を行っており、週1回のカンファレンスを開催し、手術適応の検討や情報の共有、診療科の垣根のない医療体制を取っています。

さらに、地域医療支援病院として救急医療にも積極的に取り組んでおり、消化器救急を多く担当しています。当科では内科二次救急・消化器救急の内視鏡医として夜

この方法は、お腹に傷をつけることなく入院も1週間ほどですみま。

大腸がんは、大腸がん検診の精密検査として大腸内視鏡検査を施行しています。この検査は約2Lの経口腸管洗浄剤の服用し大腸を内視鏡で観察する検査です。大腸がんは早期のものであれば内視鏡での切除が可能なものがあるた

また、内視鏡治療以外には進行した悪性腫瘍に対する化学療法、難治症例も含めた炎症性腸疾患に対する最適な治療選択、肝癌に対する動脈塞栓術など、非常に多くの消化器領域疾患に対して診断および治療を行っています。当科単独では治療できない場合も多々あり、手術が必要な疾患は外科、潰瘍性大腸炎に対する血球除去療法

め、検診の受診をお勧めします。また、がん以外にもポリープが発見された場合は大きさ、内服薬、検査後のご予定にもよりますが、入院の必要なくその場での切除も可能です。この検査は人によって苦痛が強いといったデメリットはありますが、施行医の技術により苦痛の程度が異なる面があるため、苦痛の少ない内視鏡が受けられるようにスタッフが日々技術向



上に努めています。

一新された 内視鏡システム

これ以外に当科の得意とする分野は内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)検査です。ERCPは専用の内視鏡を十二指腸まで進め、胆管・膵管を造影する検査ですが、近年はこの手技を応用した内視鏡的治療が中心となっております。私の得意分野でもあります。

この手技により閉塞性黄疸に対する胆道ドレナージ術、胆管結石除去術などが可能です。また、胆管閉塞に伴う胆管炎は重症化すれば命に関わる病気であり、緊急での治療が必要になりますが、当科では休日・夜間でも必要であればERCPができる体制です。

また、2021年1月の内視鏡システムの一新により、新たにコンベックス型の超音波内視鏡を導入しました。この内視鏡により超音波下での検査・治療が可能となりました。従来組織採取が困難であった粘膜下腫瘍、縦郭病変など

の組織診断、膵癌などの化学療法前の組織確認、膵嚢胞や膿瘍に対するドレナージ術、経胃的な胆道ドレナージ術などが可能となりました。当科では消化器内科医8人のうち2人が日本消化器内視鏡学会指導医、5人が専門医の資格を取得しており、高度な内視鏡検査・治療を行っています。

全ての内視鏡治療 対応を目指して

消化管出血や緊急胆道ドレナージなどの緊急処置を要する疾患については、近隣の医療機関からの要請があれば積極的に対応できるような体制にありますが、完璧に対応できているとは言えません。将来的には全ての内視鏡治療が可能となるようスタッフを揃え、また、患者さんやご家族に寄り添い丁寧な説明や診療を提供し、地域の住民や医療機関から信頼される真の地域中核病院にふさわしい消化器内科を作り上げたいと考えています。



消化器内科 | 主な対象疾患

食道・胃・十二指腸・大腸・肝臓・膵臓・胆道などの良性及び悪性腫瘍、胃食道逆流症、胃・十二指腸潰瘍、ヘリコバクターピロリ感染胃炎、大腸ポリープ、感染性腸炎や潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患、大腸憩室炎・出血、虚血性大腸炎、消化管異物、胆石胆嚢炎、胆管炎(急性閉塞性化膿性胆管炎含む)、胆管結石、急性・慢性膵炎、IPMNなどの膵腫瘍、急性肝炎、慢性肝炎(B型、C型肝炎、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎) 脂肪肝(NASHを含む)、肝硬変、肝癌など非常に多くの疾患の診療を行っています。



特集

Topics

感染対策室の紹介

感染管理認定看護師とは？

▽感染対策室は 何をするといい？

感染対策室は、その名の通り病院内で感染が拡がらないように、感染を制御するところです。「制御」と聞くと、少し難しく感じるかもしれませんが、病院に訪れる患者さんやご家族が安心して病院を利用でき、職員が安心して働くことができるように、様々な感染対策を検討し取り組んでいます。

とくに、ここ3年ほど新型コロナウイルス感染症(以下、COVID-19)が流行してからは、感染対策がみなさんの身近に感じられるようになったかもしれません。手指衛生やマスクの装着は決して今に始まった感染対

策ではなく、ずっと昔から感染対策の基本として行われてきたものです。冬になって、インフルエンザが流行するとみなさん積極的に手洗いをされるとは思いますが、インフルエンザ以外にも季節に応じて様々な感染症が流行します。そのため、手洗いですなわち手指衛生は一年中基本対策として実施することが大事です。外から帰宅した後、食事を摂る前、当たり前のようであっても一度も忘れないで行うというのはなかなか難しいことです。とくに子供たちは目の前のことに夢中だと忘れてしまいますし、きちんと手順通りの方法とはいきません。しかし、習慣化すれば意識しなくともできるようにあります。子供の時からきちんと手洗いができることは素敵なことだと思います。

▽一人でも多くの方に 感染対策を

みなさんが利用される病院には、様々な病気を抱えている方が通院や入院をしています。子供たちと同じで免疫機能が十分に

なく、すぐに感染症を起こしてしまいう方もいます。そういった方々を感染から守っていくには、私たちも意識して感染対策に取り組むことが大切です。

また、感染対策は1人の人だけが完璧でもあまり意味はありません。1人でも多くの方に感染対策を行ってもらうことが、感染制御においては重要なことだと言われていて、私たちは日々その1人を増やすために働きかけをしています。もっと身近に感染対策を感じてもらうため、何かお困り



のことがありましたらいつでもご相談ください。

▽感染対策の要は、チームでの活動

感染対策は、病院で感染が起きるのを防ぎ、発生した感染を拡げられないように管理することが大事な役割です。

私たちは、組織横断的に活動することが求められ、活動内容は多岐にわたります。COVID-19を始めとした感染に関する病気

のこと、細菌やウイルスのこと、お薬のことと内容は様々です。そのため、感染対策は私たち看護師だけでなく、医師や薬剤師、検査技師、事務員といった様々な職種が1つのチームとなり、それぞれの得意分野を活かしながら相談し、活動しています。



真野 彩
感染対策室 室長

感染管理認定看護師 神野さんに
インタビュー

▽感染管理認定看護師はどのような仕事？

看護師の中には、自身の専門となる分野をより深く学び、日本看護協会等が定めた資格を取得している看護師がいます。そのひとつが感染管理認定看護師です。COVID-19のパンデミック(世界的流行)により、感染管理認定看護師は脚光を浴び、今では200床以下の病院でも感染管理認定看護師を育てようという養成推進事業もあるほどです。

実際の仕事は、「実践し、指導し、相談してもらえる人」になることです。例えば、院内感染を起こさないよう手指衛生を率先して行い、周囲でも実践できているかを評価・指導し、職員に注意喚起をしています。また、現在世界的に「抗菌薬の使いすぎによる耐性化」が問題となり、家畜に使用する抗菌薬まで注意をする時代となりました

た。病院の中でも、その患者さんにとって、使用している抗菌薬が本当に適切かどうかを医師や薬剤師、臨床検査技師、事務員とチームで定期的にチェックしています。全国では、看護師の専門的な活動を、地域の病院や診療所、介護施設等にも活かそうという動きが広がっています。当院では、相模原市内の色々な施設の役に立ちたいと、外部研修等の活動を始めています。

▽感染管理認定看護師になつた理由とは？

正直に言えば、感染対策が元々きちんとできていた方ではなく、特別な興味があったわけでもありませんでした。

きっかけは、当院の職員向けに行われている「院内認定感染管理者コース」の受講です。前述したように感染対策に強い興味を持っていただけではなく、はじめは、たまたま目に留まった研修という程度でした(すみません)。

しかし研修は思ったより専門的で難しく、試験に落ちると再試験となるため一生懸命勉強をしまし



神野 祐子
感染対策室 次長

た。そのお陰か、無事試験に合格し、そこで得た知識を業務で使う中で、当時の上司からの勧めもあり、トントン拍子に感染管理の道に進みました。

今では、毎日やりがいを持って活動し、病院長をはじめ、感染対策に理解を示してくださる方に恵まれた環境で、仕事をさせていただいています。今思えば、当院の看護師教育のシステムによって私の道が開かれた訳で、当院は「看護師が学べる」という点でも、とても優れた病院だと感じています。



血液検査と 採血量の秘密

医療技術部臨床検査室 荒井 真

採血管を変える理由とは？

あなたは採血の際、「何でこ

んなに沢山採血するの？」と
思った経験はありませんか。
採血が苦手な方は、採血管が
何本も準備されていると少し
構えますよね。実は私もその
一人でした。しかし、自分が
臨床検査技師になって、どう
して何本も採血するのかその
秘密がわかりました。今回は
その秘密について少しお話し
します。

まずは、血液検査の項目数
が多いほど採血量は多くなる
のか？↓答えは△です。採血
量は採血管の本数に大きく左
右されます。

例えば10項目で1本の場合
もあれば、4項目で4本の場
合もあります。これはどうし
てでしょうか。

血液検査とは血液を用いて
行う検査の総称です。当院の
血液検査を紹介しますと4つ
の分野に分かれており、AⅡ
生化学検査、BⅡ免疫検査、
CⅡ血液検査、DⅡ輸血検査
となります。分野ごとの主な
検査内容は下図の通りです。

採血量の仕組みとは？

分野ごとに1機種(B・D)
または2機種(A・C)の分
析装置にて検査を行います。
分析装置①②③④⑤⑥ごに使用
する血液の条件(血液を分



離する場合や試薬と混ぜる場
合など)が異なるため、それ
ぞれに採血管が必要となりま
す。また、分析装置ごとに血
液の適正量が定められている
ため、極端に血液量を減らす
こともできません。

採血量は血液検査の項目数、
分野数、分析装置数によつて
変わるということをご理解い
ただけましたでしょうか。以
上が今回のテーマである『血
液検査と採血量の秘密』にな
ります。

採血に関して、「ご不明な点
などございましたらお気軽に
当院臨床検査室までお問合せ
ください。

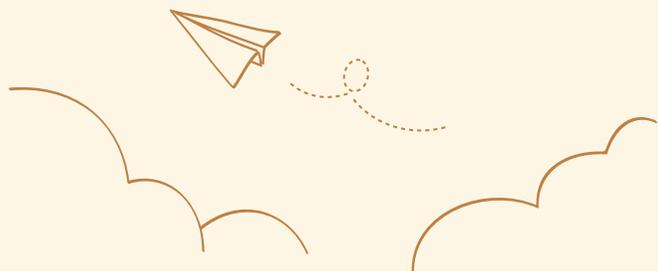
血液検査の分野

A 生化学検査	血糖、中性脂肪、総コレステロール、尿酸窒素、 γ-GTPなど[分析装置①] ヘモグロビンA1c[分析装置②]
B 免疫検査	感染症検査(B型肝炎、C型肝炎など)、 腫瘍マーカー(CEA、AFPなど)[分析装置③]
C 血液検査	血算(白血球、赤血液、Hb、血小板など)[分析装置④] 凝固検査(PT、フィブリノーゲンなど)[分析装置⑤]
D 輸血検査	血液型(ABO式・Rh式)、 抗体スクリーニングなど[分析装置⑥]



連載コラム Bein'Green

Vol.4
「となりの芝生」



小さい頃の私は「自分はどうし
てこの家に生まれてきてしまった
のか」と常にもやもやしてしま
った。今となっては正直どうでも
いい事なのですが、理由はいろいろ
ありました。

父親が極度の潔癖症で何かにつ
けてすぐ消毒したがる(ときには
うちに遊びに来た私の友達の前ま
で!)とか、自転車を買ってくれ
ないとか、ひとりでお出させてく
れないとか、好きでもないピアノ
を習わされて恥ずかしいとか、ラ
ンドセルや持ち物が何となくみん
など違うとか、しまいにはうちの
親が他の子の親より老けていると
かも含めて、人と違うことが何と
も悔しくてとても嫌でした。勢い、
「ああもつと普通の家がいいー」と
いう考えに至るのが常でした。

時を経てそんなことも忘れ、一
人暮らしの自由にも慣れた30代、
ある雑誌のエッセイにこんなこと
が書かれていました。

「私は子供のころずっと普通の家に
生まれたかっと思っていた。」
なんと、幼い頃の私と同じ人がい
たではないか！しかしてその話の
オチは意外にもこんな具合でした。
「ある時ついにそれを親に向かって

言ったところ、逆に親からこんな
ことを言われた。」曰く「そうなの。
じゃあ、その普通の家の普通の家
族というのをここへ連れてきて見
せてちょうだい。」

筆者はそこで初めて、自分が求
めていたことのバカバカしさに目
覚めたという話でした。

私はそれを見て、ああもつと早
くにこの気持ちを共有できていた
らなあ、と膝を打ったものです。
そう、具体的な「普通」という
のは案外取り出しにくいのかもし
れない。

日本の国は人種的にも文化的に
も均一性が非常に高いと言われて
いますが、例えば、かつ井と言わ
れるものは山梨県では「煮カツ井」
で、山梨のかつ井はこっちは「
ソースかつ井」と呼ばれます。私
は風呂につかる前に必ず体を洗い
ますが、銭湯や温泉に行くとかな
りの数のおじさんが、まずいきな
り風呂に浸かってから洗い場へ行
きます。

たぶんそれぞれの「普通」とい
うのは常識のことであり、お互い
の常識が違うと話がかみ合わない
ことすらあります。
病院の仕事は患者さんやご家族

Bein'Green

「緑色であること」セサミストリートのかえる
のカーミットが唄う名曲です。
自分らしさを誇れるっていいよね、という
意味合いがあります。

文：橋爪 正明
緩和ケア科診療部長

との対話ですが、相手にとっての
普通が医療者にとっての普通とか
け離れていることがあります。そ
れがしばしばお叱りやトラブルの
きっかけになったりもするので悔
れませぬ。まあそんな話はまた今
度。





▶ ホームページをリニューアルしました！

情報を皆様によりわかりやすくお伝えできるようにホームページを全面リニューアルしました。パソコンの他にタブレット・スマートフォンなど様々な媒体で閲覧しやすいよう対応しております。今後とも、内容の充実を図るとともに、わかりやすく・最新の情報を発信してまいります。

▶ 病院外来アプリ『Sma-pa』のご案内

当院ではお手持ちのスマートフォンで診察・会計待ち番号の確認ができます。無料でアプリをインストールするだけですぐにご利用いただけます。受付後は、病院内・外で待ち状況が確認できます。ぜひ、待ち時間の有効活用にお役立てください。

『Sma-pa』の使い方

- ①初回のみ、病院選択画面で「相模原協同病院」を選択してください
- ※次回からは、相模原協同病院が初期表示されるようになります。
- ②「待合番号」を選択してください
- ③受診される番号を選択してください
- ④診察・会計待ち状況をご確認いただけます
- ※診療状況によって待合番号が一時的に表示されないことがあります。ご了承ください。

まずはアプリをダウンロードしてください

ダウンロード▼



利用料 0円!!

※本アプリのダウンロードおよびご利用には別途データ通信料がかかり、利用者個人のご負担となります。

たつみやま
File1. 龍籠山展望台から望む橋本市街地・横浜のビル群



よ
り
み
ち

水と緑豊かな自然に富んだ展望

龍籠山展望台は津久井湖の上部に作られた人工湖、城山湖の近くにあり、左側に新宿、右側は横浜まで景色を見ることができ、空気が澄んでいる冬場であれば、横浜ランドマークタワーや東京タワー、そして東京スカイツリーも見ることができます。元日には初日の出を見に来る多くの人が訪れるスポットとなっています。

牡龍籠山にある金刀比羅宮の境内にはその昔、雨乞いの神事をしていたという池があります。この辺りに境川、穴川、小松川の源流があり、緑区町屋で合流、境川として流れていきます。龍籠の龍は龍神(水の神)のこと、境川を龍の姿に見立て、龍が籠もっている山ともいわれています。

龍籠山は小松橋交差点の少し先にある「龍籠金刀比羅宮参道」をスタートとするハイキングコースも整備されています。都心からも近く、休日には、大勢のハイカーでにぎわいます。

